

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科／管理栄養学科			
科目名称	子どもの発達と現代社会						授業形態	講義			
科目コード	750159	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○		
担当教員名	酒井 喜八郎、遠藤 晃、杉尾 直子、若宮 邦彦、渡邊 純子、藤本 朋美、長友 多恵子、村上 真珠美、早川 純子、福富 隆志、出口 佳奈絵、後藤 吉道						ICT活 用	○			
授業概要	<p>本授業は、「子どもスペシャリスト」に至る今後4年間の学びの道筋を示す入門的な講義であり、現代社会における教育的課題とその解決へ向かうアプローチについて、様々な視点（専門性）から取り扱うものとする。そのため、授業は、子ども教育学科及び管理栄養学科の教員がオムニバス形式で担当し、食や栄養、教育学、心理学、発達と福祉、社会、音楽、ICTなど、多面的かつ総合的な視野を持って現代社会の教育的課題について学ぶ。（オムニバス方式 / 全15回）</p>										
関連する科目	入門ゼミ、教育原理、教育と社会、教育心理学、保育原理、発達心理学、教科教育法										
授業の方法と進め方	子ども教育学科及び管理栄養学科の教員が、オムニバス形式で、食と栄養、教育学、発達と福祉、社会、音楽、ICTというテーマに沿って現状と課題、解決への手立てについてレクチャーを行う。○										
授業計画【第1回】	<p>“第1回：【オリエンテーション】子どもたちを取りまく現代社会と子どもスペシャリストの役割(酒井) ・子どもたちを取りまく現代社会の課題について、SDGs、ESDなど課題解決に向けた取り組みと、本学科で目指す「子どもスペシャリスト」の役割と4年間の学びの概要を理解する。全15回の予定を示し、どのような準備と取り組みをするか話をします。”</p>										
授業計画【第2回】	<p>“第2回【食と栄養】子どもの発達と栄養教育(管理栄養学科・渡邊) ・乳幼児期の栄養教育マネジメントとその実例を通して、保育と栄養教育連携の重要性について理解します。同時に「栄養士・管理栄養士」に対する理解を深めます。”</p>										
授業計画【第3回】	<p>“第3回：【食と栄養】スポーツを通しての栄養教育(管理栄養学科・杉尾) ・スポーツを通して、チーム学校での栄養教育の在り方等について理解します。”</p>										
授業計画【第4回】	<p>“第4回：【食と栄養】行政現場からの食教育(管理栄養学科・長友) ・胎児から高齢者までの食教育を担う行政管理栄養士の仕事を、宮崎県の健康づくり計画「健康みやざき行動計画21」の目標項目や数値から理解をします。”</p>										
授業計画【第5回】	<p>“第5回：【食と栄養】心身障害児・筋疾患児の栄養管理(管理栄養学科・村上) ・心身障害児の摂食・嚥下機能の発達段階にあわせた、食形態による栄養補給法を学びます。”</p>										
授業計画【第6回】	<p>“第6回：【食と栄養】食生活による子どもの健康(管理栄養学科・出口) ・子どもの健やかな成長と発育に必要な栄養と食生活から食育について考えます。”</p>										
授業計画【第7回】	<p>“第7回：【教育学】予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 社会福祉と子どもの貧困①(若宮) ・アンコンシャスバイアス(根拠のない偏見)からの脱却を目指し、社会福祉(ソーシャルワーク)の基本理念を再考します。”</p>										
授業計画【第8回】	<p>第8回：【教育学】予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 社会福祉と子どもの貧困②(若宮) としての「子どもの貧困」の定義、実態、具体的な実践モデルと課題を考察します。 <span style="float: right;">社会福 ・社会問題</span></p>										
授業計画【第9回】	<p>第9回：【教育学】予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 SDGsと社会(酒井) ・①なぜ、SDGsが注目されるようになったのか?②SDGsの歴史とは?③SDGsの視点からの授業づくりとは?について講義します。</p>										
授業計画【第10回】	<p>“第10回【教育学】予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 子どもたちの「学び」の現状と課題(福富) 現代の子どもたちの「学び」をめぐる状況と問題点を、心理学の観点から考えます。”</p>										
授業計画【第11回】	<p>“第11回【教育学】予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 子どもたちの対人関係の現状と課題(後藤) ・子どもは周囲の人との関わりをとおして成長していくことを考えると、学級づくりの意義はとて大きいものといえます。学級担任による子どもの対人関係能力の育成についてふれていきます。”</p>										

授業計画【第12回】	第12回【教育学：予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 保育・幼児教育における「遊び」(藤本) ・保育・幼児教育の視点から、子どもにとって「遊び」がどのような意味を持つのか考えます。
授業計画【第13回】	子どもとSDGs（遠藤）・子どもたちを取り巻く現代社会の課題についてUNICEFやMDGsのレポートから現状を知り、子どもの権利条約やSDGs、ESDなど課題解決に向けた取り組みを学びます。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
授業計画【第14回】	第14回【教育学：予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 を通じた多様性の探究（早川） ・音楽を通して世界中の様々な文化や社会的背景を学び、多様性を探究します。音楽文化
授業計画【第15回】	第15回【教育学：予測できない社会を生きるために必要な「力」と「学力」】 社会、全15回のまとめ（酒井） ・GIGA構想（一人一台端末）により、ICT教育やプログラミング学習が目まぐるしく注目を集めています。近年のわが国のICT教育、プログラミング学習の現状と、情報社会で重要なネットリテラシーや批判的思考などのメディアリテラシー教育について講義します。アメリカのマサチューセッツ工科大学で開発されたプログラミング学習のためのSCRATCH、SCRATCH JUNIORについても解説して、実習もします。・全15回のまとめとして、全15回の講義を振り返り、子どもスペシャリストについて考えます。ICTと社会
授業の到達目標	“授業の達成目標口 (1) 現代社会で子どもが曝されている問題について食、学び、発達と福祉、社会、音楽、ICTなど多面的かつ総合的に理解を深める。 (2) 問題の解決に向かうための「子どもスペシャリスト」の役割について考えることができる。 (3) 問題の解決に携わる「子どもスペシャリスト」へ至るための4年間の学びについて具体的なイメージを持てる。”
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(3)
授業時間外の学習【予習】	・授業の予習として、シラバスの内容からキーワードを見つけ、インターネットで検索してイメージを持って授業に臨む。 例えば、第一回の予習としてSDGsについて調べておく、など。
授業時間外の学習【復習】	授業時間外の学修【復習】
課題に対するフィードバック	・感想や質問の用紙を配布し、提出を求める。 <input type="checkbox"/>
評価方法・基準	講義者全員の評価を総合して判断する。
テキスト	・特に指定はない。 ・資料を適宜配付する。
参考書	特に指定しない。
備考	・講義の順番は入れ替わることがある。